

# 三菱UFJ 6資産バランスファンド (成長型)

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2020年7月7日～2021年1月5日

第 30 期 決算日：2021年1月5日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、世界各国の株式・公社債・不動産投資信託証券に分散投資し、値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第30期末 (2021年1月5日)

基準価額	10,483円
純資産総額	1,849百万円
騰落率	+9.9%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	350円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

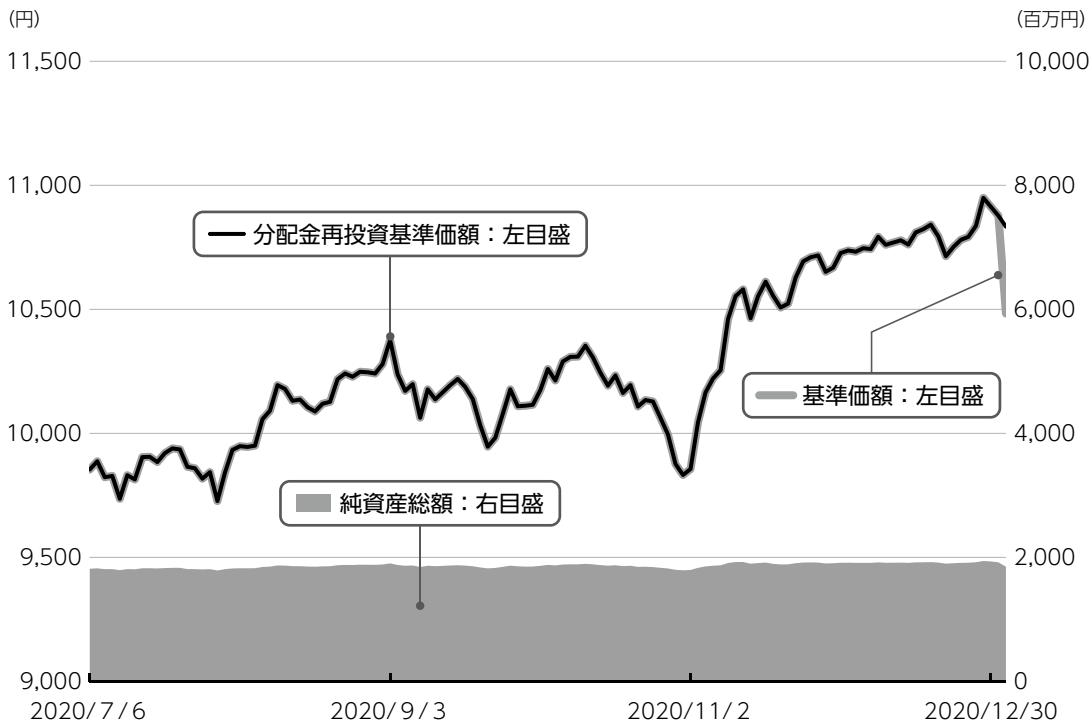
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第30期：2020年7月7日～2021年1月5日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第30期首	9,854円
第30期末	10,483円
既払分配金	350円
騰落率	9.9%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ9.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

主に外国株式市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

基準価額の主な変動要因の内訳は以下の通りです。

**内訳**

三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド	4.3%程度
三菱UFJ 外国株式マザーファンド	4.5%程度
三菱UFJ 国内債券マザーファンド	0.0%程度
三菱UFJ 外国債券マザーファンド	0.2%程度
MUAM J-R E I Tマザーファンド	0.7%程度
MUAM G-R E I Tマザーファンド	0.6%程度
その他（信託報酬等）	△0.4%程度

2020年7月7日～2021年1月5日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	57	0.551	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(24)	(0.231)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(29)	(0.287)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(0)	(0.000)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(0)	(0.001)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	2	0.018	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(1)	(0.009)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	59	0.574	

期中の平均基準価額は、10,275円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

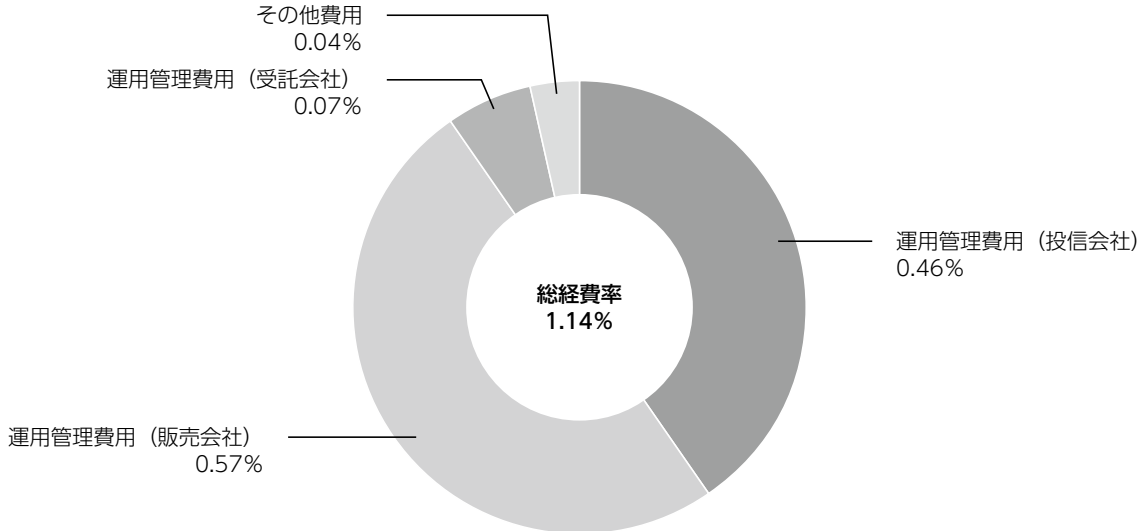
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.14%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

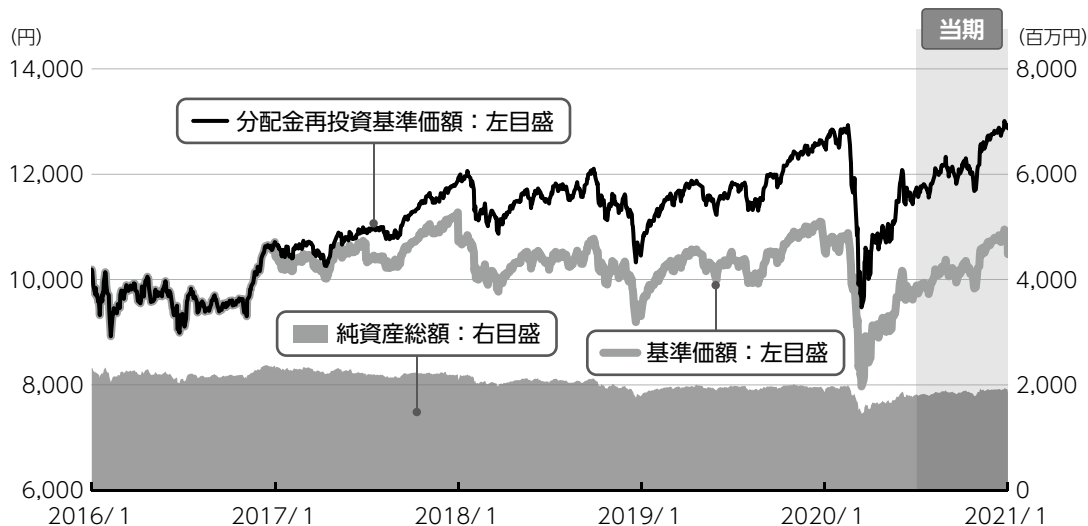
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2016年1月5日～2021年1月5日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2016年1月5日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2016/1/5 期初	2017/1/5 決算日	2018/1/5 決算日	2019/1/7 決算日	2020/1/6 決算日	2021/1/5 決算日
基準価額 (円)	10,190	10,454	10,724	9,528	10,527	10,483
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	250	900	100	600	350
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.0	11.4	-10.3	16.9	2.9
純資産総額 (百万円)	2,314	2,310	2,088	1,826	1,862	1,849

※ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 投資環境について

### ▶ 国内株式市況

**国内株式市況は上昇しました。**

日銀によるETF（上場投資信託）の積極的な買入れや、主要国の経済対策への期待、新型コロナウイルスのワクチン開発に関する報道等が支援材料となり、国内株式市況は上昇しました。

### ▶ 外国株式市況

**外国株式市況は上昇しました。**

外国株式市況は、主要国の経済対策への期待や新型コロナウイルスのワクチン開発に関する報道等が支援材料となり上昇しました。

### ▶ 国内債券市況

**国内債券市況は上昇しました。**

国内債券市況は、新型コロナウイルスワクチンの開発による経済正常化への期待が高まった一方で、日本銀行が緩和的な金融政策を継続したことから、もみ合いで推移し、期を通して見ると上昇しました。

### ▶ 外国債券市況

**先進国債券市況は上昇しました。**

先進国債券市況は、世界景気の減速懸念が高まったことや世界的な金融緩和スタンス等を背景に、期首との比較では上昇しました。

### ▶ 国内REIT市況

**国内REIT市況は上昇しました。**

新型コロナウイルスの感染再拡大に対する警戒感の高まりやオフィス・ビル空室率の上昇傾向から一時的に弱含む局面もあったものの、各国が積極的な金融政策や財政政策を継続したことや、治療薬やワクチンの開発進展に関する報道などにより経済正常化への期待が高まったことなどから、期首から期末にかけて概ね上昇基調で推移しました。

### ▶ 外国REIT市況

**外国REIT市況は上昇しました。**

外国REIT市況は、主要国の経済対策への期待や新型コロナウイルスのワクチン開発に関する報道等が支援材料となり上昇しました。

### ▶ 為替市況

**米ドルは円に対して下落、ユーロは円に対して上昇しました。**

為替市況は、期首に比べて4.2%の円高・米ドル安、4.3%の円安・ユーロ高となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 6資産バランスファンド (成長型)

資産配分は、ファンドの基本投資割合に準じて運用を行いました。

基本投資割合は、信託財産の純資産総額に対して以下の通りです。

三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド	30%
三菱UFJ 外国株式マザーファンド	30%
三菱UFJ 国内債券マザーファンド	10%
三菱UFJ 外国債券マザーファンド	10%
MUAMJ-REITマザーファンド	10%
MUAMG-REITマザーファンド	10%

### ▶ 三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド

資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。

株式ポートフォリオはベンチマークである東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

### ▶ 三菱UFJ 外国株式マザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に採用されている株式（先物・不動産投資信託証券（REIT）を含む）を主要投資対象とし、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。株式の国別比率、業種別比率などがベン

チマークとほぼ同様になるようにマルチファクターモデルを用いてポートフォリオを構築しました。

（注）マルチファクターモデル  
株式市場の構造（動向）を、複数の要因（業種・通貨・企業規模など）に分類し、高度な統計手法を用いて説明をするモデル

### ▶ 三菱UFJ 国内債券マザーファンド

資産のほぼ全額を債券（先物を含む）に投資し、高い公社債組入比率を維持しました。

ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の構成銘柄を種別や年限等の属性でグループに区切り、ベンチマークの各グループの比率とポートフォリオの同じグループの比率を極力近づけるように、ポートフォリオを構築しました\*。

\*一般的に、このような手法を層化抽出法といいます。

### ▶ 三菱UFJ 外国債券マザーファンド

日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。



**▶ MUAM J-REITマザーファンド**

東証REIT指数（配当込み）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。

銘柄選定およびポートフォリオの構築は主に、定性的評価・定量的評価を経て行っています。

定性的評価については、事業内容および財務内容などの分析を中心にを行い、定量的評価においては、キャッシュフロー、配当利回り、投資口価格純資産倍率（PBR）などの分析を行いました。

組入銘柄数は54～55銘柄程度で推移させました。

主な売買動向については、保有物件の売却益なども活用しながら持続的な分配金成長が期待できると判断したGLP投資法人のウェイトを引き上げたことや、各種バリュエーションの相対的な割安度を勘案して伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人のウェイトを引き下げたことなどが挙げられます。

**▶ MUAM G-REITマザーファンド**

ベンチマークであるS&P先進国REITインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）に採用されている不動産投資信託証券を主要投資対象とし、同インデックスに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

不動産投資信託証券の組入比率は高位を保ち、国別比率や用途別比率などがベンチマークとほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第30期
	2020年7月7日～2021年1月5日
当期分配金（対基準価額比率）	350（3.231%）
当期の収益	277
当期の収益以外	72
翌期繰越分配対象額	1,602

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 三菱UFJ 6資産バランスファンド（成長型）

資産配分方針は、従前通り基本投資割合を維持します。また、各資産の組入比率は、期を通じて同割合に準ずるよう調整を行います。

### ▶ 三菱UFJ トピックスインドックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 三菱UFJ 外国株式マザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 三菱UFJ 国内債券マザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ 三菱UFJ 外国債券マザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

### ▶ MUAM J-REITマザーファンド

REITの組入比率については、高水準

（90%以上）を維持する方針です。

配当利回りやPBR等のバリュエーション、また物件ポートフォリオのクオリティ等に注目し、安定した分配金が見込

め相対的に割安と思われる銘柄への投資ウェイトを高めた運用を行います。

新型コロナウイルスワクチンの接種が各国で始まり、国内においても実用化に向けた期待が高まっています。ただし世界的な感染者数の拡大は継続しており、また、ワクチンが広く普及するには相応の時間を要することから、当面の経済の回復ペースは緩やかなものになると考えております。一方で、各国中央銀行による金融緩和策を背景とした低金利環境も当面続くとみられることなどから、引き続き国内REIT市況は堅調に推移するとみています。

このような市場環境に対する想定のもと、物流や小売など大口テナントの業界動向に加えて、スポンサーのサポート体制にも着目しつつ、REIT各社に対する綿密な調査を継続することにより、個別銘柄ごとの業績動向や中長期的な成長性を慎重に見極めて選別投資を行い、パフォーマンスの向上に努めてまいります。

### ▶ MUAM G-REITマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果

をめざして運用を行います。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

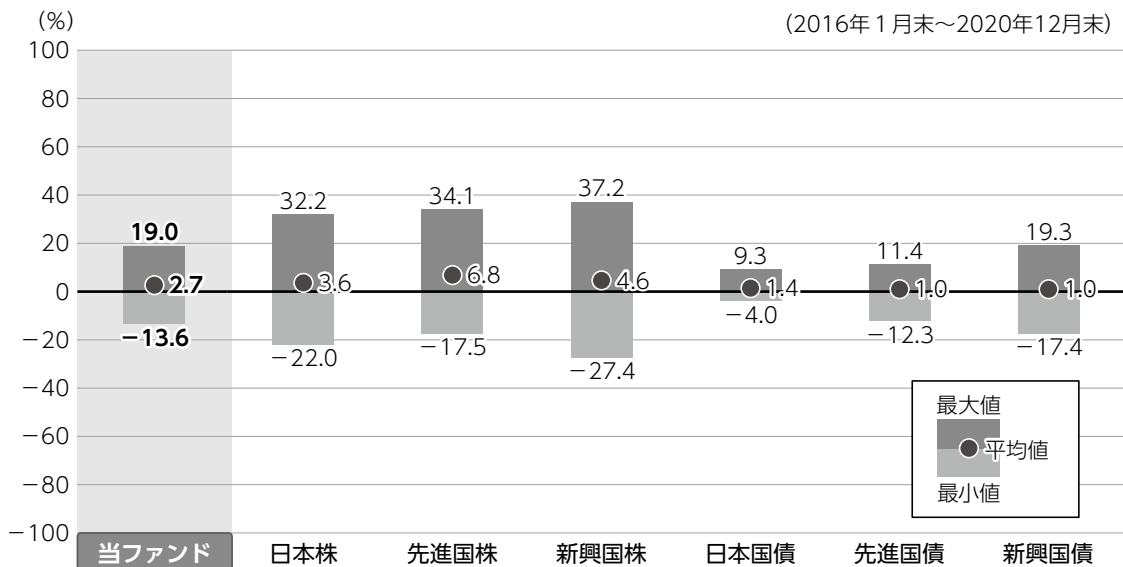
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2026年7月3日まで（2006年3月17日設定）
運用方針	マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券への分散投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券、三菱UFJ 外国株式マザーファンド受益証券、三菱UFJ 国内債券マザーファンド受益証券、三菱UFJ 外国債券マザーファンド受益証券、MUAM J-REITマザーファンド受益証券およびMUAM G-REITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。各マザーファンド受益証券への資産配分は、信託財産の純資産総額に対して、それぞれ30%、30%、10%、10%、10%、10%を基本投資割合とします。</p>
	<p>■三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド</p> <p>わが国の株式を主要投資対象とします。</p>
	<p>■三菱UFJ 外国株式マザーファンド</p> <p>日本を除く世界各国の株式等を主要投資対象とします。</p>
	<p>■三菱UFJ 国内債券マザーファンド</p> <p>わが国の公社債を主要投資対象とします。</p>
	<p>■三菱UFJ 外国債券マザーファンド</p> <p>日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。</p>
	<p>■MUAM J-REITマザーファンド</p> <p>わが国の金融商品取引所に上場している（上場予定を含みます。）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
	<p>■MUAM G-REITマザーファンド</p> <p>S &amp; P先進国REITインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）に採用されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
運用方法	世界各国の株式・公社債・不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年1月から2020年12月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversifund

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2021年1月5日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：6銘柄)

ファンド名	第30期末 2021年1月5日
三菱UFJ 外国株式マザーファンド	30.1%
三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド	29.9%
MUAM J-R E I Tマザーファンド	10.1%
三菱UFJ 外国債券マザーファンド	10.1%
MUAM G-R E I Tマザーファンド	9.8%
三菱UFJ 国内債券マザーファンド	9.8%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。

※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

### 純資産等

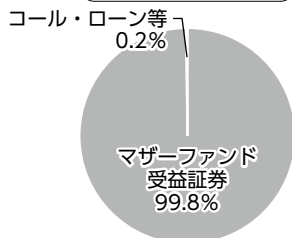
項目	第30期末 2021年1月5日
純資産総額 (円)	1,849,624,019
受益権口数 (口)	1,764,437,478
1万口当たり基準価額 (円)	10,483

※当期中において追加設定元本は42,693,461円

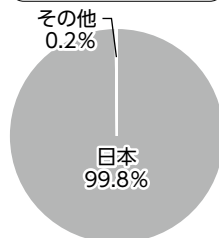
同解約元本は 121,065,055円です。

## 種別構成等

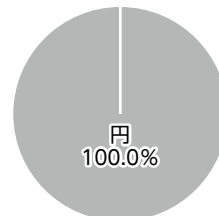
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



190104

2020年5月20日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 三菱UFJ 外国株式マザーファンド

## 基準価額の推移

2019年5月20日～2020年5月20日



## 1万口当たりの費用明細

2019年5月21日～2020年5月20日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	1	0.004
(株 式)	(1)	(0.003)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.002)
(b)有価証券取引税	2	0.008
(株 式)	(2)	(0.008)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c)その他費用	9	0.039
(保管費用)	(9)	(0.038)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	12	0.051

期中の平均基準価額は、24,469円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1,301銘柄)

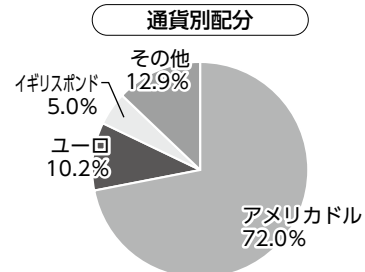
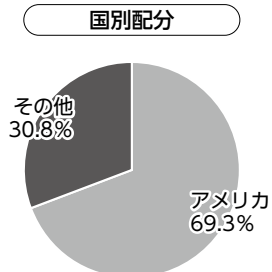
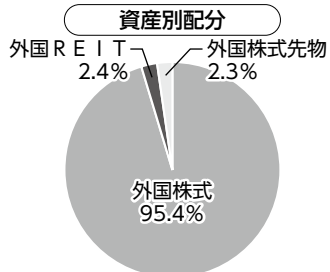
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	APPLE INC	株式	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.8
2	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.6
3	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	小売	2.8
4	FACEBOOK INC-CLASS A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.4
5	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.2
6	ALPHABET INC-CL A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.1
7	JOHNSON & JOHNSON	株式	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.1
8	VISA INC-CLASS A SHARES	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.9
9	NESTLE SA-REG	株式	スイス	食品・飲料・タバコ	0.9
10	PROCTER & GAMBLE CO/THE	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.8

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※REITを含めて表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

190053

2020年2月20日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド

## 基準価額の推移

2019年2月20日～2020年2月20日



## 1万口当たりの費用明細

2019年2月21日～2020年2月20日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (株式)	0	0.001
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(b) その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、13,691円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

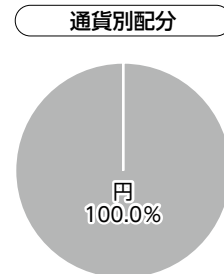
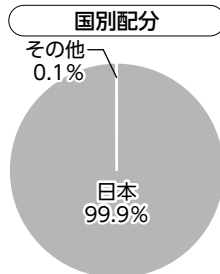
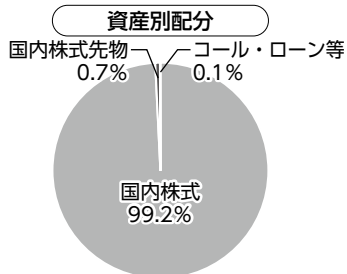
(組入銘柄数：2,157銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	トヨタ自動車	株式	日本	輸送用機器	3.6
2	ソニー	株式	日本	電気機器	2.0
3	ソフトバンクグループ	株式	日本	情報・通信業	1.8
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	株式	日本	銀行業	1.6
5	日本電信電話	株式	日本	情報・通信業	1.5
6	キーエンス	株式	日本	電気機器	1.5
7	武田薬品工業	株式	日本	医薬品	1.5
8	リクルートホールディングス	株式	日本	サービス業	1.3
9	三井住友フィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	1.1
10	KDDI	株式	日本	情報・通信業	1.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

592101

2020年3月10日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ MUAM J-REITマザーファンド

## 基準価額の推移

2019年3月11日～2020年3月10日



## 1万口当たりの費用明細

2019年3月12日～2020年3月10日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	18 (18)	0.053 (0.053)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	18	0.053

期中の平均基準価額は、35,114円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：54銘柄)

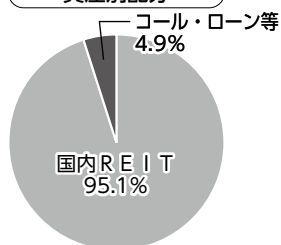
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	日本ビルファンド投資法人	REIT	日本	不動産	7.7
2	ジャパンリアルエステイト投資法人	REIT	日本	不動産	7.7
3	野村不動産マスターファンド投資法人	REIT	日本	不動産	5.0
4	日本プロロジスリート投資法人	REIT	日本	不動産	4.6
5	オリックス不動産投資法人	REIT	日本	不動産	3.9
6	大和ハウスリート投資法人	REIT	日本	不動産	3.6
7	アクティビア・プロパティーズ投資法人	REIT	日本	不動産	3.2
8	アドバンス・レジデンス投資法人	REIT	日本	不動産	3.1
9	ユナイテッド・アーバン投資法人	REIT	日本	不動産	2.9
10	森ビルズリート投資法人	REIT	日本	不動産	2.8

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

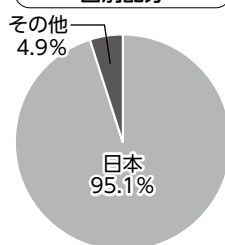
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 種別構成等

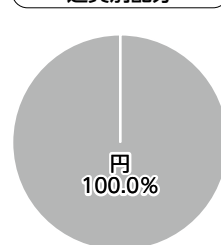
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信